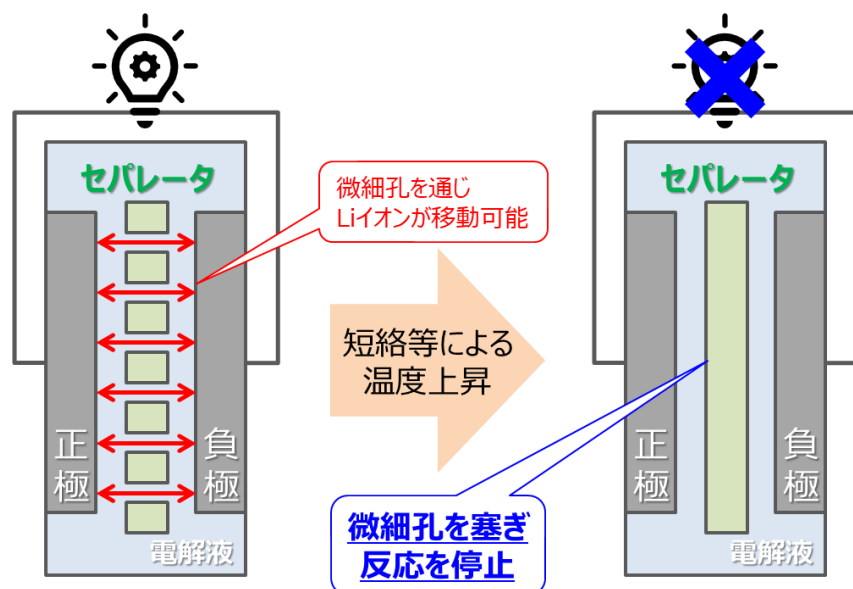


リチウムイオン電池用セパレータ シャットダウン機能の詳細評価

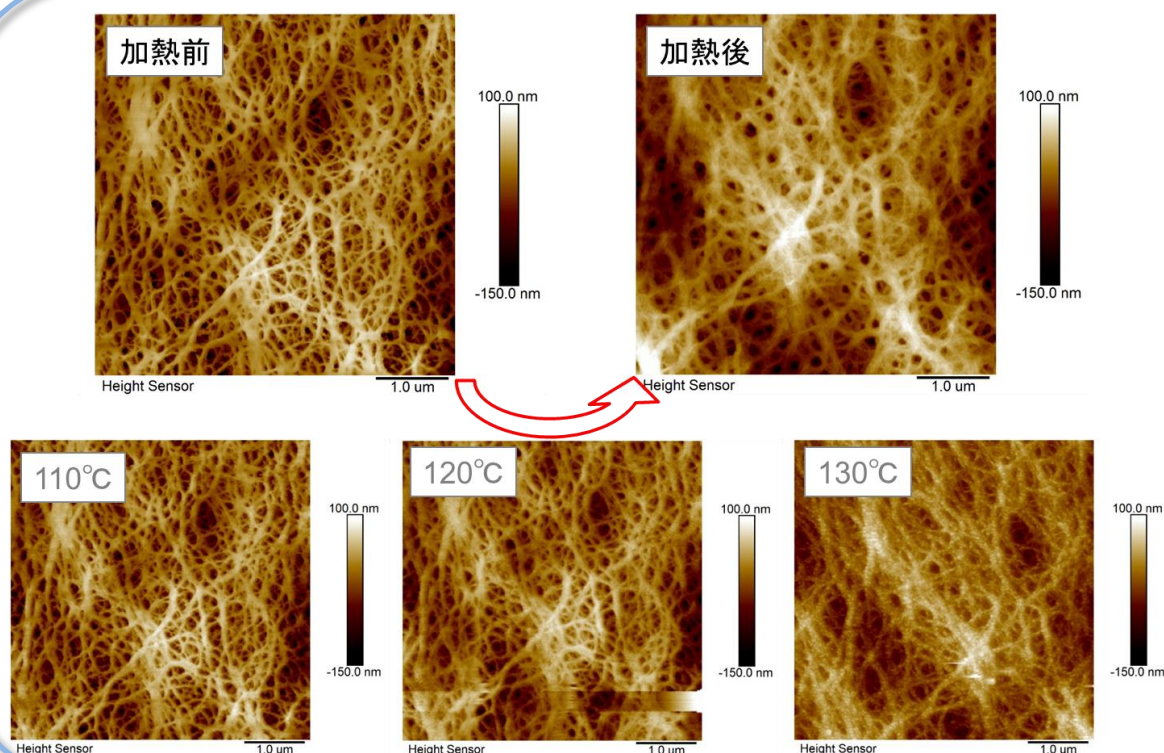
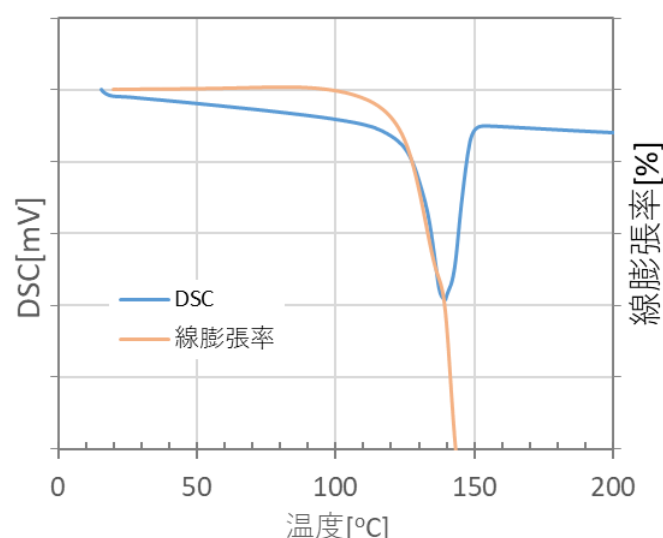
リチウムイオン電池に短絡等の異常が生じ温度上昇が生じた際、熱暴走を防止するためにセパレータの微細孔を閉じる“シャットダウン機能”について、熱物性評価および高温その場観察により詳細に解析できます。



熱物性評価 (DSC, TMA)

温度掃引時の吸熱反応や、膨張挙動を捉えることにより、シャットダウン機能が起こる温度が分かります。

試料全体での評価となるため、積層されたセパレータや、コーティングされたセパレータにおいても、内部のシャットダウン挙動を捉えることができます。



高温その場観察 (In-situ AFM)

温度を掃引しながら表面形態を観察することにより、微細孔が塞がっていく詳細な様子を観察することができます。